

神原川歯科大学 同窓会会報



139号 2024年1月



Kanagawa Dental University Alumni Association

<https://inaoka82.com/>



巻頭言	会長 大舘 満	2
新年の挨拶 桃太郎と浦島太郎	鹿島 勇	3
歯科医療の研究・教育機関と地域医療連携の基幹病院	井野 智	4
学術講演会報告 木ノ本 喜史先生講演会報告	渡邊 亮一郎	6
北道敏行先生講演会報告	藤野拓郎	7
宮島大地先生講演会報告	山野悟志	8
会務報告 (令和5年7月から12月まで)		9
同窓便り 東北地区連合／九州地区連合		10,11
北海道支部／福島県支部／埼玉県支部		12,13,14
千葉県支部／兵庫県支部		16,17
和歌山県支部／広島県支部		18,19
高知県支部／福岡県支部		20,22
クラス会報告 5回生クラス会	澤村恭子	23
卒業生のページ 教授就任のご挨拶	中納治久	24
歯科インプラントの現状と課題	築瀬武史	26
Rock led me to dental psychosomatic medicine	清水義央	27
褒章・叙勲受章 令和5年叙勲、表彰		29
お知らせ		30
神奈川歯科大学附属 歯科・健脳クリニック日本橋のご案内		33

- 表紙題字：大舘 満 会長
- 表紙写真：キャンパスセンター（新本部棟）2023年12月完成
- P.10～P.22の「同窓便り」に公益社団法人日本歯科医師会 広報課より許可をいただき、日本歯科医師会PRキャラクター「よ坊さん」のイラストを使用しています。

年頭のご挨拶

神奈川歯科大学同窓会
会長 大館 満



謹賀新年

皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、インフルエンザとともにまだまだ気を許せない状況が続いています。3年半のコロナ禍での歯科診療は多くの問題を解決しながら試行錯誤での対応でしたがクラスター等の大きな問題も出さず無事経過しました。

同窓会も何とか通常通りの活動に戻ることができ安堵いたしております。普通の毎日に感謝をしながら、通常時とは異なる感染症や災害時等の緊急時の同窓会運営を円滑に進めるシステムを構築していきたいと考えております。ここ3年ほど開催できなかった代議員会を今年度は開催を予定しています。何度か理事会での協議を重ね新しい形の同窓会を目指し、会則改正も進めながら改革を進めて参ります。自然災害の原因と思われる温暖化防止のため同窓会もSDGsを遵守しながら運営できないか模索しており、今回の改革にも反映していきたいと思っています。

既に春号で述べさせていただきましたが、例えば、理事会、常務連絡会、その他の会議の一部、学術講演会をオンライン、参集とオンラインのハイブリッドで遠方の方への利便性を考慮しこれからも進めていきたいと思っています。飛行機や新幹線を使って参加する場合の交通費や宿泊費などの金銭的な節約のみならず、最終的に二酸化炭素の排出量の軽減に貢献できると考えております。ただし、現状の会則では代議員会、選挙などは参集が基本ですので今後、会則の見直しなど会員の皆様のご意見をお聞きして進めてまいりたいと考えております。

会議等で使用される紙媒体を減らすことも必要で、コロナ禍のオンライン会議で紙媒体から脱却のヒントを得られました。理事会で協議しアイデアを注ぎ進めてまいります。同窓会ホームページの刷新により今以上にIT化を進め効率化を進めて参りたいと思います。

また、1回生から令和5年3月卒業の54回生まで同窓会会員の年齢層も広がり世代間の隔たりを感じる事が多くなりました。放置すれば世代間での意見の違いから同窓会の発展は見込めません。問題が大きくなる前に青年部会の創設を模索しております。

今までは男子主導で運営してきましたが卒業生の3割を超える女性に活躍をお願いしていかなければなりません。女性目線での会務運営も重要だと考えております。

同窓会では新型コロナウイルス感染予防の観点から同窓会創立50周年を中止、延期させていただきました。来年以降の開催を検討しておりましたが今年11月に全国歯科大学同窓・校友会懇話会を当校主管で開催することになり、この懇話会の運営に全力を注いでまいりますので周年行事を一年延期し来年開催することとなりました。ご理解をいただきたくお願い申し上げます。

昨年も述べましたが、一昨年から学校法人神奈川歯科大学においては本館建て替えを中心としたキャンパス大改造を行っております。資金調達的手段として「キャンパス改造事業募金」を募集しております。令和5年3月31日締め切り予定で進めておりましたが、大学から継続するとの報告を受けておりますので改めて母校の発展のためにご協力をお願いいたします。

少子化の影響で受験生の減少が進んでおります。同窓会としては優秀な学生を集め、神奈川歯科大学発展のため応援していきたいと考えております。卒業生の「子女枠」を改め卒業生の推薦で子女でない受験生も認める「卒業生推薦枠」となり、入学金の一部も軽減され、気楽に推薦できる制度となっています。皆様の近隣のお知り合いの子女でも可能ですのでご紹介のほどよろしく願いいたします。

コロナ後の新しい時代に即応する同窓会を目指し邁進してまいります。皆様には今後ともご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

桃太郎と浦島太郎



神奈川歯科大学 理事長 鹿島 勇

遠い昔の教授時代、カエルを使った宇宙ステーションミールそしてイモリとヒヨコを使ったスペースシャトルでのライフサイエンス実験に参加したことがあります。私達は、宇宙から地上に降りてきた動物の骨の解析を担当しました。その時、宇宙への強い憧れから、微少重力下で様々な実験を担当する宇宙飛行士のことを大変羨ましく思ったものでした。その宇宙飛行士採用の最終面接試験に“もし生まれ変わるとしたら桃太郎と浦島太郎のどちらを選びますか？”が出題されたと聞きました。正解は浦島太郎ですが、何故でしょう。

桃太郎は、鬼ヶ島の鬼退治のために犬と猿そしてキジを雇います。そして、各々の個性を上手く使い分けて見事に鬼を退治します。彼らの働きに対する報酬はキビダンゴでした。これは、目的達成のために必要な人を雇って対価を支払うという、現代にも通じる理論的思考といえるでしょう。一方、浦島太郎は亀を助けたお礼として竜宮城に招待され、躊躇なく行くことにします。その決断は、どんな所なのか解らない未知の世界への挑戦といえるでしょう。帰りにお土産として、決して開けてはいけない玉手箱を渡されます。彼は陸に戻った途端、中に何が入っているのか早く知りたいという好奇心に駆られ、それを開けてしまいます。開けた途端に老人となり、びっくりするもののパニックに陥ることもなく、竜宮城に行ったことも後悔しませんでした。

宇宙は未だ未知の世界であり、突発的に何が起こるか解りません。その時、既存の技術やこれまでの考え方は通用しません。その場で手に入れられる物を組み合わせ、生じた問題を一人で解決しなければなりません。つまり、“自力で生きる術と能力”を身に付けた浦島太郎的感性が宇宙飛行士に適しているとの考え方です。

近い将来、私達の世界もかつて経験したことのない予測不可能な時代を迎えることとなります。すでに物事の価値観や社会のしくみは変化し始め、これまでの常識、過去の経験や体験が通用しないことを肌で感じるようになりました。このような不確実性の高い時代を生き抜くには、浦島太郎と桃太郎とを組み合わせたハイブリッド型の感性と発想が必要となります。本学も15年間進めてきた成長戦略からその完成型である安定成長へと、ゆっく

りと時間をかけてパラダイムシフトしていかねばなりません。

そこで、現在進めているコンソーシアム構想（共通の目的を達成するために企業等が集った共同事業体）と、JV（利益追求を目的として企業が合併したジョイントベンチャー）を組み合わせ、ハイブリッド型のビジネスモデルの概略をご紹介します。

この構想の第一段階は、学校法人神奈川歯科大学と現在成功している歯科医療法人とのコラボレーションによる、新しいコンセプトの歯科医療の産業化を目指すことにあります。それが実現した時の施設の標榜は、例えば学校法人神奈川歯科大学〇〇サテライトクリニック〇〇歯科、ということになるでしょう。この〇〇の部分、新しく開院する場所と、医療法人の名称に置き変わります。つまり、個人の歯科クリニックの頭に本学の名称が冠として付くことを意味します。ただし、この場所のみのクリニックに限っており、すでに開院している所に本学の名前を掲げることはできません。

お互いの役割分担として、本学は学校法人としての強みと人脈を活かし、医療機関設置のための場所の検索と優位な条件交渉となります。一方医療法人側は、開院に関わる全額費用負担、育成された歯科医師や事務を含めたパラメディカルスタッフの配置そしてその運営です。

組する医療法人の資格は、原則として経営最高責任者（CEO、理事長）が愛校心の強い本学出身者であることが第一条件となります。さらに国内で数店舗以上のクリニックを運営していること、その経営状態が黒字で負債がなく健全であること、そして独自の医療人育成システムと施設を有しており、その教育のためのプログラムが完成していることです。

本学への貢献は、私立学校共済事業団の受配者指定寄付を通して行っていただきます。その条件は、医療法人側と学校法人側とがお互いに納得できるよう話し合っ

て決定することとなります。この構想は、卒業生と母校とが経営で結びつくユニークな発想の新しい事業形態といえるでしょう。その構想実現に向けた本学の0年からの新たな旅立ちが始まります。同窓会の皆様方の御支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

歯科医療の研究・教育機関と地域医療連携の 基幹病院



神奈川歯科大学附属病院 病院長 井野 智

本学附属病院は、1度目の東京オリンピックが開催された年1964（昭和39）年に開院し、以来、臨床教育機関として、また、地域医療機関としての役割を担ってまいりました。現在の病院は、2017（平成29）年11月、本学キャンパスのある三笠公園地区の稲岡町から、通りを隔てた国道16号沿線の小川町へと移転・開設し、早6周年を迎えたところです（写真1）。

半世紀以上にわたって私たち同窓の学び舎でもあった稲岡町の旧附属病院の跡地は、患者専用駐車場として利用されています。

現在の附属病院は、地上12階建てで旧附属病院の約2倍の延べ床面積へ拡大し、最新の医療検査機器を揃えて設置された画像診断科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、認知症・高齢者総合内科など口腔疾患とのかかわりが注目されている医科部門が新たに加わり、従来の歯科診療科目との連携にて次世代型の歯科病院として全国でも注目を集めています。もちろん、全身管理をしながら摂食嚥下リハビリ等を行う高齢者歯科、最新のデジタル診療・技工機器（口腔内スキャナー、CAD-CAM、デジタルプリンター）を充実させて、一般診療だけでなく臨床研究も行う先進歯科や、本学同窓会をはじめとする寄付金で整備した臨床教育では欠かせない診療シミュレーターの完備（写真2）など、旧病院では実現できなかった理想的な歯科病院へと進化しています。

当院の基幹となる4つの理念は「患者さんに安全で優しく、質の高い医療の提供」「病診連携を大切にし、地域社会の健康増進と衛生向上に貢献」「先進医療の研究・開発を推進」「人間性豊かで有能な医療人の育成」となります。このような新たなコンセプトに基づく新病院設立の背景として、単に「旧病院が老朽化した」というだけではありません。総務省の人口移動報告2015（平成27）年では、横須賀市は転出超過が全国の市区町村でワースト2位であり、地域活性化に警鐘を鳴らしているという現実もあり、前任地（横浜研修センター、横浜駅周辺）とは真逆で、横須賀中央駅付近の街並みは大きく変化しており、本学附属病院を取り巻く地域環境は決して恵まれているわけではありません。一方で、当院における新患初診における地域

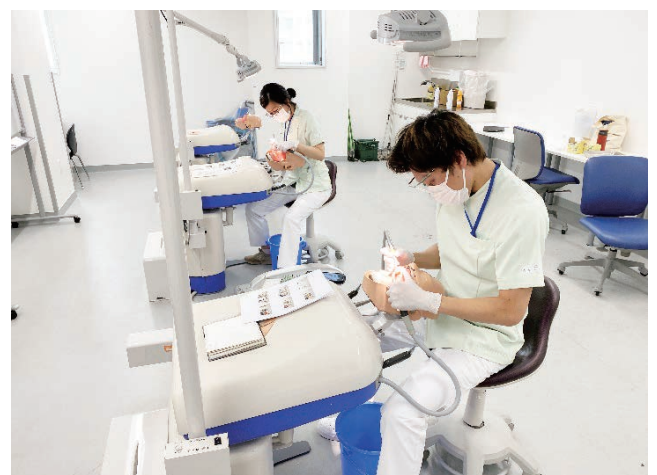


写真2 同窓会寄付等により院内に設置したシミュレーターで学修する院内生・研修歯科医



写真1 神奈川歯科大学附属病院の近景

医療機関からの紹介率は年々増加して約6割となっている現状から、地域医療連携としての存在意義も強く認識しているところです。また、近年、かつてない程、超難関となっている歯科医師国家試験に対応できる学生を醸成するために、文部科学省からは、見学型から参加型臨床実習（自験：学生自ら診療を体験する学修）の実施を強く求められており、教育病院としての使命があります。ここでは、従来のように、患者さんに対して「教育研修機関ですので、ご協力ください」などと理解を求めるだけでは済まされず、診療を受ける患者さんが、院内生に求める知識・技能・態度の3領域について、具体的にその質を担保しなければならないという現実があります。特に登院実習生（5年生）に本格実施されているステューデントデンティスト制度（歯科医師の仮免許制度）はその一つであり、また、登院実習中に、マネキンではなく、患者さんを対象にした実技試験に合格する必要もあり、（公社）共用試験実施評価機構から派遣された委員によって、試験実施状況もモニタリングされ、厳正に行われています（写真3）。



写真3 登院実習生（5年生）に必須の臨床実地試験（CPX）

国（厚生労働省）は、教員（歯科医師）に対しても“働き方改革”を適用・本格実施することで、“長時間労働による健康被害から労働者としての教員を守る”とする一方で、文部科学省が指摘する私立歯科大学経営健全化の第一項目として“附属病院の経営健全化(黒字)”を求めており、両省庁からの指導を踏まえつつ、難しい附属病院の経営ではありますが、今後も、初代病院長から受け継がれてきた神歯大の良き伝統を守り、更に、新病院となった令和の時代に大きく発展させるべく、本学同窓会のお力添えを賜りながら社会貢献していきたいと考えております。何卒、ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

明日の口腔医療に貢献する歯科用機器・サプライ・書籍の総合商社

今日もTRADスピリットで。

大正12年の創業以来、田中歯科器械店は、伝統を守りながらも常に環境の変化に対応し、革新し続けることで発展してまいりました。そのスピリットを表現するシンボルがTRAD。

Traditionを意味するだけでなく、Tanaka Realize Advanced Dentalという強い意志を表しています。田中歯科器械店はこれからもTRADスピリットで、国民の口腔医療に貢献してまいります。



株式会社 田中歯科器械店

- 本社
〒102-8139 東京都千代田区富士見1-3-8
Tel 03-3230-2386(代) Fax 0120-418-550
- 神奈川支店
〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町26-3
Tel 046-826-1640(代) Fax 0120-182-999
- 新潟支店
〒951-8151 新潟県新潟市中央区浜浦町1-41
Tel 025-267-1080(代) Fax 0120-438-020
- 日本歯科大学営業部附属病院売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16
日本歯科大学附属病院内
Tel 03-3263-9525(代) Fax 03-3263-9553
- 日本歯科大学営業部生命歯学部売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20
日本歯科大学生命歯学部内
Tel 03-3265-8977(代) Fax 03-3265-0570
- 日本歯科大学新潟生命歯学部売店
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
日本歯科大学新潟生命歯学部内
Tel 025-265-0850(代) Fax 025-265-0859
- 神奈川歯科大学営業所
〒238-0003 神奈川県横須賀市稲岡町82
神奈川歯科大学歯学部内
Tel 046-826-1441(代) Fax 046-826-1465

<http://www.tanakadental.co.jp>

木ノ本 喜史先生講演会報告

渡邊 亮一郎 (学術協力委員・43 回生)

2023年5月28日、神奈川歯科大学同窓会学術講演会は、会場とオンラインによる受講生を結ぶハイブリッド方式にて、神奈川歯科大学附属横浜クリニック7階大会議室にて開催いたしました。

会場には、他大学出身の先生を含む多くの受講生の方が、またオンラインでも大変多くの受講生の方に参加いただきました。

本講演は、『エンドの鉄則～成功に導く必須の知識～』と題し、大阪府にてご開業され、大阪大学歯学部臨床教授でもいらっしゃる木ノ本 喜史先生に1日ご講演いただきました。本学同窓会の鈴木副会長の開会の挨拶をかわきりに、途中お昼休みをはさみ、約6時間半にも及びました。

木ノ本先生には長時間にわたりご講演いただき、心より感謝申し上げます。

講演の前半は、根管治療を行う際には、根管解剖の知識が欠かせない現状をお話いただきました。

根管を細菌感染させないためには、う蝕を徹底的に除去する事、但し、劣化したラウンドバーや劣化したエキスカの使用により、う蝕の取り残しが起こる可能性があるため、感染の機会を徹底的になくするための器具管理の重要性も強調されていました。また、根管治療におけるCBCT撮影のメリットや、解剖学的な根管形態の把握等、実際の臨床例を交えてお話いただきました。

講演の途中では、治療中に口が開きにくい患者さんに対し実践されている顎のウォーミングアップも、実

際に木ノ本先生自ら実演いただきました。下顎を切端より前に出し、口を大きく開ける動きを3回繰り返し、その後、ゆっくり左右に動かし、開口する、というものでしたが、会場の受講生の方々も実践されており、対面による講演ならではの光景だったと思います。

講演の後半では、再根管治療時に多くの歯科医師を悩ませる鑄造ポストの除去についてお話をいただきました。木ノ本先生が開発・応用された「ダブルドライバートクニック (DDT)」は、鑄造体の大きさ歯質残存歯質の量に関係なく応用可能とのことでした。スリットを入れる位置や左右逆向きの力を加える等、支点と作用点の位置が重要とのことでした。更に、「ダブルパイブレーションテクニック (DVT)」では、超音波振動を効率的に利用した築造体の除去を、実際の臨床における動画を交えてお話いただきました。このテクニックは、会場の多くの受講生の興味を引き、講演後は活発な質疑に対するディスカッションが行われ、わかりやすく解説していただけたと思います。明日からの臨床に応用できる内容だったのではないかと強く感じました。

根管治療を成功に導く為には、根管解剖を理解すること、またその治療を行う上で必要な臨床の技術に関しても非常に多くのお話をいただきました。

末尾になりましたが、今回ご講演いただいた木ノ本先生、ご協力いただいた事務局、学術委員の先生方に心より感謝申し上げます。



2023年5月28日開催 前列左から5番目 講師：木ノ本 喜史先生と学術委員会メンバー

北道敏行先生講演会報告

藤野拓郎 (学術委員・43 回生)

去る2023年7月30日、神奈川歯科大学附属横浜クリニック7階大会議室にて、日本臨床歯科CAD/CAM学会 指導医、学会長でもあり北道歯科医院をご開業されている北道敏行先生をお招きし、『IOSを用いた口腔内直接光学印象のポイントと実際』と題し、ハイブリット学術講演会が行われ、本講演は開催された。まずは、口腔内スキャナー（以下IOS）の、IOSの変革の歴史から、臨床応用の勘所、精度、技工士との連携についてと詳しく解説された。また、製作されたセラミックと歯質との接着に関しても、形成後に露出した象牙質を接着材料で被覆するIDS (Immediate

Dentin Sealing) という方法を推奨した。このコンセプトにより、レジンセメントとの接着強度の増加、露出象牙質保護による術後の疼痛・感染防止になるとして、実際使用しているマテリアルを紹介しながら一連の流れを症例を通じて解説された。最後に、これからの歯科医院DX化に向けてIOSを通じて、治療のみならず、スタッフ教育・患者対応へと幅広い可能性をご提案された。

質疑応答ではWEB参加者からも質問が続き、明日からのIOSへの意識が変わる講演だった。



2023年7月30日開催 列左から6番目 講師：北道敏行先生と学術委員会メンバー

宮島大地先生講演会報告

山野悟志（学術委員・42回生）

2023年9月3日に神奈川歯科大学附属横浜クリニック7階大会議室にて、宮島大地先生（神奈川県開業・40回生）をお招きして、「開業医のための無駄のないマイクロスコープ導入法～エンドだけではもったいない！～」というタイトルで、今年度3回目の学術講演会を行った。

まだ、マイクロスコープを導入していない先生やマイクロスコープの活用方法を模索している若手の先生向けの内容であったが、若手の先生からベテランの先生まで幅広い年齢層の先生に参加していただいた。また、終盤の質疑応答も多数の先生より質問が飛び交い、最後まで活気のある会となった。

内容としては、前半は、マイクロスコープを使用するための初期設定方法から、基本的な使用方法、どのようにマイクロスコープを活用していけば良いのか、経営面から技術面まで基礎的な講演となった。後半は、多数の症例を提示していただき、より臨床に沿った内容となった。さらに、マイクロスコープの使用を躊躇

する先生の見解として、時間的な問題、経営面的な問題、クリニックのシステムの問題、スタッフ的な問題等、さまざまな課題があげられるが、今回の講演では、経営の話からスタッフや歯科医自身のモチベーションの図り方など、課題の解決方法までご教示いただいた。マイクロスコープを買ったが、現在では、飾りとして診療所に置いている受講生にとっても希望が持てる講演会となった

今回の講演会の講師選考にあたり、神奈川歯科大学を卒業した若手の先生で、多方面で活躍し始めている先生を選考した。その結果、今まで学術講演会に参加したことのない年代の受講者が多く参加してくれる会となった。

同窓会学術委員会は、同窓会会員の日々の臨床のスキルアップを目的とし、多年代層の会員に受け入れられるような企画を制作していくため、今後とも期待していただきたい。



2023年9月3日開催 前列左から3番目 講師：宮島大地先生と学術委員会メンバー

令和5年7月から12月までの会務報告

月	日	曜	行 事	出席者・講師
令和5年	1	土	北海道地区連合会総会・北海道支部学術講演会	大館会長、講師：大館 満先生（7回生）
	9	日	令和5年度第1回予算決算特別委員会	
7月	15	土	第2回理事会	
	16	日	学校法人神奈川歯科大学理事と同窓会との懇談会	大館会長、浅井・鈴木・相原・小野・桂・金山・早野副会長、秋本専務、植村・高橋常務、金子理事
	20	木	第4回学術委員会（Web会議）	
	22	土	鶴見大学歯学部同窓会との二校合同役員会	大館会長、浅井・鈴木副会長 秋本専務、植村常務、芦田・金子理事
	23	日	福岡県支部総会・学術講演会	講師：杉山悟郎先生（37回生）
	30	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 「IOSを用いた口腔内直接光学印象のポイントと実際」	鈴木副会長、講師：北道敏行先生
	8月	21	月	第5回学術委員会（Web会議）
26		土	第39回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 兵庫県支部総会・学術講演会	山中常務、別部・前畑理事 講師：田畑勝彦先生（24回生）
9月	3	日	第6回学術委員会 神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 「エンドだけではもったいない！一般開業医のための 無駄のないマイクロスコープ導入法」	鈴木副会長、講師：宮島大地先生
	10	日	東北地区連合会総会（宮城県） 私立歯科大学歯学部同窓・校友会連絡協議会	大館会長 12校会議・時局講演会：大館会長、秋本専務 時局講演会：浅井・桂副会長、植村常務
	14	木	12校会議ならびに日歯会長の時局講演会 日本歯科医師会創立120周年記念式典	大館会長
	15	金	役員就任披露パーティー	
	16	土	令和5年度第3回情報処理部 Zoom 練習会	
	23	土	第3回常務連絡会（Web会議）	
	28	木	和歌山県支部総会・学術講演会 学会理事との連絡協議会	講師：前畑 香先生（31回生） 大館会長、秋本専務、山中常務 別部・前畑理事（学術委員会）大橋副委員長
10月	30	土	埼玉県支部総会・学術講演会（Web開催） 第42回日本接着歯学会学術大会	桂副会長、講師：藤井範久先生（18回生） 大館会長
	13	金	山形県支部学術講演会	講師：佐藤 誠先生（5回生）
	14	土	令和5年度第4回情報処理部 Zoom 練習会	
	20	金	第3回理事会（Web会議）	
	21	土	第7回学術委員会（Web会議）	
10月	21	土	九州地区連合会支部長・代議員会並びに懇親会	来賓：鹿島理事長 大館会長、平良副会長、奥村監事
	28	土	長野県支部総会・学術講演会 静岡県支部学術講演会 東京都支部学術講演会	大館会長、講師：土屋公義先生（24回生） 講師：二瓶 智太郎教授（22回生） 講師：槻木恵一教授（24回生）
	1	水	第8回学術委員会（Web会議）	
11月	11	土	第2回監事会 第4回理事会 岩手医科大学歯学部同窓会創立50周年記念式典・講演会・祝賀会	浅井副会長
	18	土	第70回全国歯科大学同窓・校友会連絡協議会	大館会長、浅井・桂副会長、秋本専務 植村・高橋常務、芦田理事
	19	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 「部分床義歯臨床を成功させるキーポイント」 ～よく噛める義歯を製作するために～ 5回生クラス会 参議院議員島村大先生お別れ会	鈴木副会長、講師：松田謙一先生 46名参加
	25	土	第3回広報委員会（Web会議） 広島県支部総会・学術講演会	講師：井野 智教授（20回生）
	26	日	群馬県支部学術講演会	講師：小池軍平先生（27回生）
	12月	3	日	第2回予算決算特別委員会 令和5年度第1回表彰選考委員会 令和5年度第1回選挙管理委員会
5		火	第9回学術委員会（Web会議）	
16		土	第4回広報委員会（Web会議）	



令和5年度神奈川歯科大学同窓会東北地区連合会開催される

五十嵐 隆 (12回生・宮城県支部支部長)

コロナ禍で3年ほど開催が中断されておりましたが、本年5月に5類に移行された後、岩手県支部の英断をもって東北地区連合会を支部長会として再開、本年度はコロナ感染者数も増加し開催が危ぶまれましたが、感染対策に十分注意をして宮城県支部の主幹で規模を縮小し開催いたしました。大館 満会長を主賓にお迎えして、青森県支部、岩手県支部、山形県支部、福島県支部の支部長をお招きして宮城県支部は執行部一同がホストとして2023年9月3日(日)午前11時よりホテルメトロポリタン仙台にて開催しました。

まず、支部長会を開催、東北地区連合会としての今後の取り組みなどを活発に意見交換し確認いたしました。総会は主賓として大館 満会長より、大学、大学病院、横浜クリニックなどの状況をお話いただき、同窓会の今後の取り組みなどもお示しいただきました。青森県支部、岩手県支部、山形県支部、福島県支部の支部長のあいさつ、会員動向、活動状況などの報告をいただき、次期開催県を青森県支部と決定致しました。その後少人数なので、昼食を交えての懇親会として和気あいあいと開催されました。





よ坊さん

神奈川歯科大学同窓会九州地区連合会宮崎大会報告

竹尾昌洋（11回生・宮崎県支部副支部長）

2023年10月21日（土）13時30分より、第75回九州地区歯科医学大会が4年ぶりに宮崎県歯科医師会主催で行われ、九州地区の歯科大学関係者が宮崎市に集い開催されました。

令和5年度
第75回九州歯科医学大会
1日からはじめる健康づくり
～目指せ!健康長寿日本～

日時 令和5年10月21日(土) ■13:30～17:00
場所 宮崎観光ホテル ■宮崎市松山1-1-1
主催:九州地区連合歯科医師会 担当:宮崎県歯科医師会

同窓懇親会前に、宮崎駅前KITENビルコンベンションセンターにおいて、令和5年度第1回神奈川歯科大学同窓会九州地区連合会支部長代議員会が開催され、各県の神奈川歯科同窓会の支部長、代議員が集まりました。

長崎県よりあと5年後に主催が回って来るが、現在本学在校生もゼロ、最近の卒業生で長崎に帰郷する者もゼロという現況で、同窓会会員の減少、高齢化が進み、開催に不安があるという意見が出されたが、他県も同じような状態で、今後の同窓会活動が不安視されるという見解でした。

神奈川歯科大OBのご子息も最近は九州地区では福岡歯科大学に進学される方が多いようです。懇親会参加人数も神奈川歯科大学の3倍弱でした。

その後会場を宮崎観光ホテルに移動して、我が神奈

川歯科大学の鹿島 勇理事長、大館 満同窓会会長をお迎えして、九州7県から56名の同窓生に出席をいただき、盛大に行われました。

懇親会に先立ち、鹿島 勇理事長より『神奈川歯科大学の現況』という題で講演をいただきました。

講演内容は、大学病院は横須賀本校、横浜クリニック、羽田サテライト共に経営状況は順調で、さらに近々には豊洲、京橋、銀座にもサテライトがオープンするとのことでした。

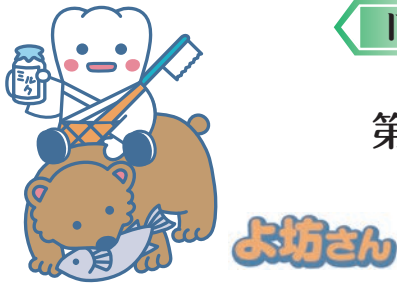
さらに都内北区に東京歯科衛生士専門学校もオープンして、学生募集も順調、横須賀から横浜、そして都内へと、神奈川歯科大学の京浜急行線に沿った、1本の流れができたということでした。

また2024年には本校の新しい本部棟が完成して、旧本部棟は取り壊しになり、校門も我々同窓生が見慣れてきた場所からもっと三笠寄りになるとのことでした。建物も世界初の外観の色が変わる?という斬新な物になるそうで、完成が楽しみです。

一時期、経営が危ぶまれた神奈川歯科大学ですが、全体的に経営状況は安定しているとのまとめでした。

懇親会は食の宝庫、宮崎の食材を活かしたフルコースで、アトラクションでは、我が宮崎県支部長の5回生、土田孝男先生のお嬢様方によるフラダンスショーに癒され、盛り上がりました。その後全員による校歌斉唱、来年度の主催県、沖縄県にバトンタッチして無事終了しました。





第53回定例総会・講演会・懇親会の報告

徳島 清 (11 回生・北海道支部専務理事)

2023年7月1日(土)16時30分より札幌パークホテルにて第53回定例総会を開催しました。全道より25名の参加で3年ぶりの対面での総会でした。

式次第に従い総会を進めてまいりました。

中村順三会長の挨拶の後、本部同窓会会長大館 満先生のご挨拶をいただき正副議長には4回生の小松始先生、議事録署名人には、6回生の峰村久憲先生と7回生の新谷清美先生を選出いたしました。

議長のスムーズな進行により、報告事項は質問もなく終わり議決事項については第1号議案から第4号議案まで全て承認可決されました。

第5号議案 役員改選に関する件については、7回生の水野文晴先生のご推薦により会長に4回生の中村順三先生、監事に7回生岩寺 基先生と11回生の伊藤敏彦先生が選任され承認可決されました。

54回定例総会は、札幌市に決定いたしました。

17時30分より「最近の神奈川歯科大学の様子と神奈川歯科大学同窓会の現状について」という演題で本部同窓会大館 満会長による講演がありました。

18時40分より集合写真を撮影し、19時より懇親会を開催いたしました。

参加会員全員に壇上で近況を報告していただきました。

会員はネタを仕込んできて楽しく話していました。

二次会は、同ホテルのパークプラザで開催しました。

翌日、親睦ゴルフコンペに参加する会員以外は、久しぶりのススキノの夜を満喫したようです。





福島県支部定時総会

桑名利直（18回生・福島県支部）

2023年6月24日（土）午後4時から郡山にて福島県北支部主催のもと定時総会が行われました。

定例の事業報告、会計報告が行われ、協議へと移り75歳を迎え本部会費が免除になった会員の支部会費の徴収方法などが話し合われた他、会員の高齢化、会員不足に対しての支部運営方法などが議題として上がりましたが議決には至らず新年会の臨時総会に持ち越しとなりました。

福島県は現在4方部3年毎に持ち回りで福島県支部を運営しておりますが、県北支部も今年で3年目。方部が変わる毎に旅行会で積み立てたお金で旅行を計画するのですが、まだコロナも5類には移行したものの

沈静化には至らず会員にも希望を募りましたが人数が集まらず、今回は取りやめとなりました。

その後、歯科補綴学講座 有床義歯補綴学分野 分野長・教授・神奈川歯科大学附属病院 病院長の井野 智先生を講師にお招きして「明日から使える咬合調整」-顎関節と歯周組織を守れ-を演題とした学術講演をしていただきました。日常臨床でコンポジットレジンを巧みに応用したブラキシズムや顎関節症の対応やプロ野球選手などに対応したスポーツプリントの豊富な症例を主軸とした非常に興味深く有益な内容でした。

その後集合写真の撮影、懇親会へと移り、大盛会の内に令和5年度定時総会を終了いたしました。





令和5年度 神奈川歯科大学埼玉県支部同窓会 (三笠会) 総会・学術講演会

北川 純 (16 回生・埼玉県支部)

2023年9月30日(土)に神奈川歯科大学同窓会埼玉県支部(三笠会)総会ならびに学術講演会が開催されました。昨年に続いて今回もZoomによるWeb開催となりました。

総会は、平澤克也専務理事司会の下、高橋 朗会長の挨拶、諸報告の後、選任された新井信明先生の議長の下に議事が行われました(出席者10名、委任状32名)。令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度事業計画・予算案、その他の議事について会員の承認が得られて終了となりました。

総会に引き続き北川 純学術担当理事の司会で、学術講演会に移行しました。神奈川歯科大学同窓(18回生)で、茅ヶ崎市にて開業されている藤井範久先生を講師として「咬合治療と顎関節症、全身の健康との相関は」という演題にて講演をしていただきました。講師の藤井先生は学生時代より日本顎咬合学会に所属され、卒業には神奈川歯科大学成長発達歯科学講座矯正科の特任講師を務める傍ら、学会活動を米国に移し海外の咬合学やTMDの権威ら(Dr.J.Okesonや Dr.P.Dawson他多数)と親交を深めるようになりました(画像1)。米国咬合学会等に所属の他、ADA会員でもあります。

最小の介入で最大の効果を目標にされている演者は、歯列矯正は補綴治療をミニマムに行うためのツールとして用いる意味合いもあるとのこと。まずは大学病院にて外科矯正が適応と診断された患者を非外科にて行ったⅢ級のケースを2例提示されました(画像2)。歯列矯正や顎関節症のケースは、他の医療機関からの紹介やリカバリーの依頼など、演者の診療所は自費診療のみという診療スタイルにもかかわらず、いわゆる難

症例の駆け込み寺的な様相を呈している様です。

顎関節症(以下TMD)に関しては、外側翼突筋がスパズムあるいは防御的筋スプリングを生じて顎変位と片側性無咬合を生じた症例の相談ケースでは関節包炎と診断し、一過性であるからNSAIDsの投薬と患部の安静、罨法を試みて、絶対にマニピュレーションなどの整復術や咬合調整を行ってはならないという指示により改善したケースから入りました。

顎顔面疼痛(Orofacial Pain)については原因により、筋骨格由来の疼痛、血管性疼痛、神経因性疼痛、精神因性疼痛に分類され、治療の経過(1st咬合治療等、2nd歯ぎしりや睡眠等のセルフケア、3rd改善されない部分の原因と対処)において、その評価(VAS)を聞き取ることが大切とのこと。ここで咬合のクオリティをさらに高めれば症状がより改善できると思うのは間違いで、咬合と顎関節のコンディションは疫学的に比例関係になく、疼痛発生源が他から来ている場合もあるからです(画像3)。TMDとは単一の疾患ではなく、顎顔面に機能障害と疼痛障害を引き起こす疾患の総称であるので、咬合が関与しているのか関与していない病状なのかを見極める事が必要であり、顎顔面疼痛のサブグループであるTMDは、非常に近似した症状を呈するTMD以外の疾患との鑑別診断が必須とのこと。鑑別すべき疾患には身体症状症(身体表現性障害・画像4)や線維筋痛症等があって、さらにそれらと鑑別すべき疾患として、統合失調症、大うつ病性障害、人格障害等があり、このような場合は良く見極めたくて、信頼のおける精神科等の専門家の受診を勧めるべきということです。身体症状症の場合、診療所をいわゆる「たらい



画像1 演者は Dr.P.K.Thomas の孫弟子で、専属運転手も務めた



画像2 外科を用いないミニマムな咬合治療

回し」にされている場合も多いので、患者を見放していないという意思表示が大切で、国内では精神科が安易に処方し過ぎているベンゾジアゼピン系抗不安薬を原則として用いないこと等、薬物依存症にならないようにする配慮も必要だということです。リエゾン診療として行う場合「いつでも見てあげますよ」というスタンスではなく、日時を決めて再診1回につき10分以内の診察(会話)にすべきということです。

この他、他の医療機関にて矯正したケースが早期に開咬となり、咬合不調和となった患者のリカバリーでは、4歯の埋伏智歯を抜歯したのみで改善したケースなどの確かな診断がいかに大切かということが分かりました。他にも多くの咬合治療ケースを提示されました。

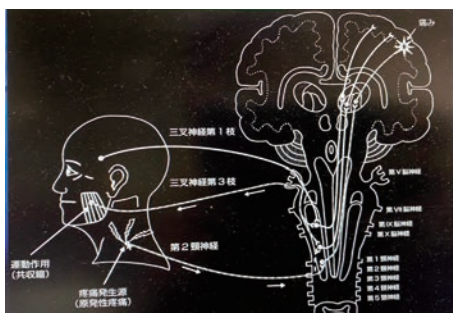
咬合治療やTMD治療に関しては、ある特定の診断法を用いたから間違いが無いとか、ある高名な先生の治療法や特定の咬合様式を付与することで問題解決が得られるというのは安易すぎる考えであり、患者や症状の多様性を考慮すれば症例ごとに正確な診査と、それによって正しい診断を行い、科学的根拠に基づいた最も妥当な治療法を術者が導き出す必要があると演者は確信しているとのことです。Dr.Bellの名言：We can't diagnose something we don't know about. (医者は知らない疾患の診断名はつけられない)の通りで原因の分からないうちは(診断名のつかないうちは)、咬合調整など非可逆的な治療やマニピレーション等は安易に行なうべきでないということです。様々な患者が様々な理由で慢性的な痛みを感じて診療室を訪れ、そのうち不正咬合や咬合干渉といった歯科医が治療可能な原因で痛みが生じている場合もありますが、歯科医は自分の

知っている範囲の疾患に当てはめてしまう傾向があるので、TMD=咬合病ではないということを常に自覚すべきとのことです。歯科的疾患以外の原因も疑われる場合には歯科的治療を開始する前にペインクリニックや精神科などの専門医の受診を勧めるべきで、歯科治療はその後でも良く、歯科領域以外の可能性のある疾患に関する知識や情報を持っていることが大切とのことです。

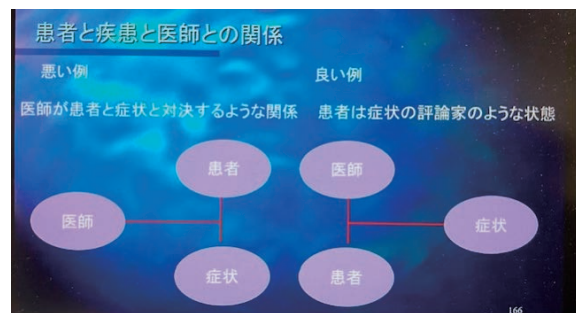
また、患者、疾患、術者の位置関係として、患者と疾患に対して医師が対決するのではなく、患者と医師が共に疾患について考えるといった立ち位置が好ましいとのことです(画像5)。

さらに、広義の咬合治療のテクニックとして、根離開大臼歯に対して矯正用インプラントをアンカーに挺出させたケース、顎変形症で大きく下顎が右方に変位した患者を変位側のみ咬合高径をアップして改善させたケース(画像6)、骨吸収が著しくサイナスリフトを側方からアプローチすると咀嚼筋群にダメージを与えてしまう場合においてピエゾサージェリーを使ってクレストルアプローチにて埋入したケースなど多岐多様の臨床テクニックも提示されました。なお講演開始前の雑談時には米国で話題となっているエアウェイデンティストリイについても簡単に説明してもらうなど、1回の講演のみで終わるのはもったいない感じの内容でした。最後に海外の著名な先生らと親しくなるコツとしては、海外の学会に毎年参加して、質問して後でメルアドを交換してメル友になることだそうです。

ここ数年、学術講演と総会についてはWebによる開催が続きましたが、次年度からは久々に集って開催の方向で検討する予定です。



画像3 Palpationにより疼痛発生源を探る(トリガーポイント痛)



画像5 患者と疾患と医師との良好な立ち位置は

- 身体表現性障害(Somatoform Disorders)の分類
アメリカ精神医学協会作成、精神疾患の診断・統計マニュアル第4版(DS-V)
- 身体化障害(DSM-IV 300.81)
 - 鑑別不能型身体表現性障害(DSM-IV 300.81)
 - 転換性障害(DSM-IV 300.11)
 - 疼痛性障害(DSM-IV 300.80, 300.89)
 - 心気症(DSM-IV 300.7)
 - 身体醜形障害(DSM-IV 300.7)
 - 特定不能の身体表現性障害(DSM-IV 300.81)

画像4 身体表現性障害の分類



画像6 顎変形症の咬合治療の一例



千葉県支部夏季納涼会

原橋宏幸 (35 回生・千葉県支部専務理事)



新型コロナウイルス感染症が2020年1月に日本に襲来してから早3年半、程度の波はあるが行政より会食は禁止され、同窓会としての活動としては制限されていた。神奈川歯科大学同窓会千葉支部ではコロナ発生初年度よりZoomを用いたWeb会議を取り入れ理事会や講習会を行ってきた。参加会員も激減し、同窓会自体の存続の危機が訪れていた。

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが5類感染症に変更となり、晴れて会合が出来る状態になった。

5月より新会長となった椎野広巳先生(17回生)が催した企画が屋形船である。4年前まで同窓会千葉県支部市川地区で行われていた屋形船を千葉県支部全体で行うことにし、会員家族と在校生も含めた企画である。奇しくも3年前にコロナのクラスターの発生場所の一つが屋形船であったが、この開催はコロナ前の同窓会への回帰に繋がることを願っての決断だ。

8月20日(日)快晴。私も家族と参加し、生まれて初めて屋形船に乗った。懐かしい顔ぶれとともに、初めての顔ぶれ。みんな笑顔だった。やはり対面は良い。猛暑を吹き飛ばすようなスピードで東京湾を進む屋形船。水面ギリギリのカモメが波の光に照らされキラキラしている。沖に停泊し、次々と運ばれてくる料理に舌鼓を打ち、カニを無心で頬張る後輩の子供、仲間と思いに話す学生達の風景を見ながら飲む酒はこの上なく美味しいのである。神奈川歯科大学在学時に知り合った同級生の妻と二人の子供も、帰路につく際に「来年も行きたい。初めてだけど意外と楽しかったね。」と言っていた。

令和5年度神奈川歯科大学千葉県支部夏季納涼会は家族会員10人、学生4人を含む納涼会の過去最多参加人数の29人となった。最後に椎野広巳会長の挨拶を記載する。

「本日の納涼会及び、在校生との懇親会に参加して頂き、ありがとうございます。新出港部としての初めてのイベントです。何卒よろしく願いいたします。」



椎野会長の勇姿

笑顔の船内風景

同窓便り

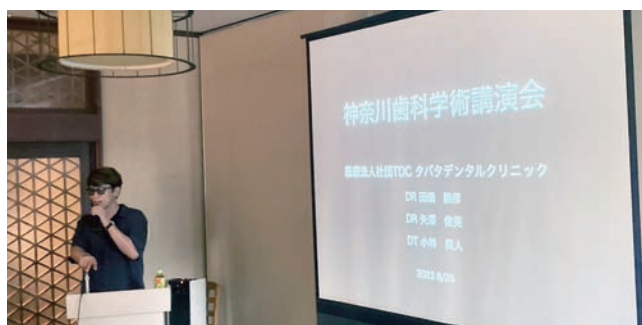


「3年振り、兵庫県支部の会員・家族・従業員が集う」
令和5年総会・夏期学術講演会・家族従業員懇親会

佐多 勉 (29回生・兵庫県支部)



2023年兵庫県支部総会・夏期学術講演会・会員家族従業員懇親会が8月26日(土)午後5時から神戸三宮神仙閣で開催された。3年振りの対面形式での総会后、芦屋市開業の24回生 田畑勝彦先生を座長に迎えて夏期学術講演会が行われ、つづいて会員家族従業員懇親会が開催された。40数名が集まり、大盛況のうちに閉宴となった。



学術講演会で座長を務める田畑勝彦先生



挨拶をする清瀬隆司会長

最初に、2019年以来となる総会が午後5時より行われた。清瀬 隆司会長があいさつで「新型コロナ感染症の蔓延により同窓会事業を自粛していたが、5類移行に伴い対面での開催が出来たことを嬉しく思う。色々な事の様式の変化に対応した会の運営をしていきたい」と述べた。井上達也専務の司会進行で、新入会員紹介、物故者黙とう、議案の上程及び説明が行われ、すべての議題が承認されたのち、丸尾真史副会長のあいさつで総会は終了した。

続いて学術講演会は、本学24回生 芦屋市医療法人社団 TDC タバタデンタルクリニック 田畑勝彦院長を座長に迎え開講された。演題①「理想的な歯肉のマネジメント」では、TDCでの症例を題材に、長期的に安定し、審美性の高い修復をするためのマージン設定は骨縁上組織付着 (supracrestal tissue attachment)

を侵さないようにする事。その為の形成・印象方法について、すでに侵されている場合のリカバリー方法や歯肉マネジメントのコツ、BIO-TYPE別の攻略法、咬合採得方法について解説した。また、歯科医師、技工士で連携したプロビジョナル作製をする利点をトリミング模型、技工過程の写真や図を交えて説明した。症例の中には、通常は講演に使えない著名人の症例も本人承諾済みで供覧でき、同窓会ならではの非常に印象深い講演となった。演題②「フルデンチャーの要点」は、旧義歯の問題点を見つけながら新義歯の作製を行うために、観察すべきポイントについて、勤務医や技工士との共同発表形式で講演を行った。講演後は多くの質疑に座長が丁寧に応答を行い、大きな反響を残し学術講演会は終了した。

講演後は、家族従業員懇親会が同会場で行われた。会員の診療所で勤務する家族やスタッフ同士の交流の場にもなり、美味しい食事やお酒で大いに盛り上がった。会も終盤へ差し掛かったころ、恒例のビンゴ大会が開催され、普段から会員の診療所を支えている、家族や従業員の方には是非素晴らしい景品を獲得してもらおうと、担当理事が素晴らしい付度をし、参加された会員家族従業員の方はとても満足されたようであった。



丁寧に質疑応答をする座長

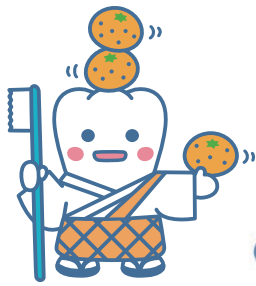
料理とお酒を存分に楽しんでいましたが、時間となったため、岩崎勇人副会長が閉宴の辞を述べ散会となった。



円卓中華料理



兵庫県歯科医師会
イメージキャラクター「でん太」→



「コロナ禍における義歯不良の対応」

炭井俊人 (34 回生・和歌山県支部学術担当委員)

2023年9月23日(土)和歌山市内、「ホテルグランヴィア和歌山」にて、支部総会及び学術講演会を行いました。総会では木村幸弘支部長の進行のもと、挨拶に始まり、報告、予算案や計画の協議が行われ、無事閉会しました。

その後の学術講演会が行われまして、講師は神奈川県三浦郡葉山町で御開業され、大学では神奈川県歯科大学特任教授・同窓会学術担当理事の前畑 香先生をお迎えし「コロナ禍における義歯不良の対応」という演題でご講演いただきました。

実際の日々の臨床の観点からお話ししていただき、昨今のデータも用いながらと、非常に興味深い内容で講義してくださいました。新型コロナウイルスの感染により受診制限や自宅待機の指示を受け、行動制限によりフレイルとなった患者の実際や、それに対する対応方法、さらに感染予防に役立つ知識や薬剤についても述べられ、新型コロナウイルスの影響下の治療状況を解りやすく説いて下さいました。コロナ禍における治療はまだ当分継続すると思いますので、将来の臨床の助けになる内容

でした。後半では下顎総義歯の難症例に対する対応方法の一つにおいて、辺縁封鎖用のレジン「ペリモールド」の使用方法を紹介いただき、実演しながら、さらには臨床での動画を発表され、大変貴重な時間を過ごすことができました。和歌山より人口が多い神奈川で診療されている前畑 香先生のコロナ禍での対応方法が、感染対策についての厳しさや考え方、新しい情報を得ることもできたり、とても興味深い学術講演会となりました。

懇親会は四川料理の「CHINOIS SUMII (シノワスマイ)」にて開催しました。講演会の延長のような会話もできたり、世代を越えて先生方の思い出話や情報交換、近況報告などしたりととても賑やかに充実した懇親会となりました。今回のように学術講演会を通して、時代背景などの問題点を議題として取り上げるにより、とても身近な部分で勉強になる内容だと感じました。学術講演会は現在2年に一度開催予定しております。





「神奈川歯科大学同窓会広島県支部・稲岡会」 令和5年度定時総会

玉山廣忠（18回生・広島県支部）

2023年6月17日（土）午後6時から「ANAクラウンプラザホテル広島」において標記総会が開催された。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の蔓延にて、会合は中止を余儀なくされ、実に4年ぶりの開催となった。石橋昌彦専務が司会進行し、山村 剛会長の開会の辞で始まり、まず物故者に弔意を示し黙祷を行った。会長より会計報告がなされ承認された。次期会長に西谷 満氏が選任され、承認された。総会後の懇親会より、

新執行部による役割となった。

司会は新副会長の玉山廣忠氏がつとめ、西谷満新会長の挨拶、大石正臣先生にお言葉をいただいた。

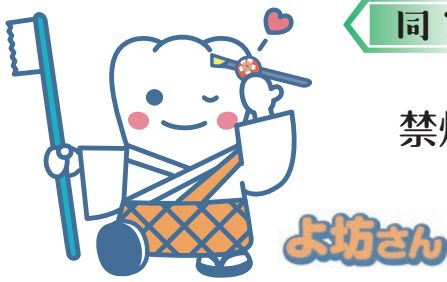
道沸雄次氏の乾杯の発声にて宴が始まり、久しぶりに楽しいひと時を過ごすことができた。

終盤に横村康彦先生がタクトを振り、校歌を全員で合唱した。

最後に歌野原 之副会長の閉会の辞で終了した。



趣味の写真について熱弁！ 大石正臣先生



禁煙宣言は高知の同窓会から発信

松本啓司 (24 回生・高知県支部)

日本禁煙学会のホームページの禁煙宣言学会等の一覧に神奈川歯科大学同窓会 高知県支部が掲載される事になりました。

この神奈川歯科大学同窓会 高知県支部の禁煙宣言に対し、活動に賛同していただきました理事長の鹿島 勇先生をはじめ、副学長の槻木恵一先生、その他歯科医師だけではなく医師や、さまざまな方面のプロフェッショナルを究められた計6名の先生方から激励のお言葉をいただいております。

口の中から健康をサポートし、指導していく使命の私たち歯科医師は、喫煙が口腔内や血管に様々な害を及ぼす事は誰もが周知している事ですが、それがなぜ現在もまだ歯科医師までもが一丸となって禁煙を推進できないのか？それはタバコが麻薬と同じ「依存性がある」その一言に尽きます。これは加熱式タバコにおいても同様です。神奈川歯科大学同窓会 高知県支部は、約4年の2019年3月に禁煙宣言を打ち出し、微力ながらその活動に取り組んできました。

その神奈川歯科大学同窓会 高知県支部の禁煙宣言が今回の日本禁煙学会のホームページの禁煙宣言学会等の一覧に掲載される事になりました。その事は歯科界にとっても医学会にとっても大きな一歩と言えます。依存性があり、さまざまな障害がある禁煙活動において、この様な地方の小さな団体が一丸となり禁煙の重要性を発信していく事は、大きな意味がある事だと思います。

その神奈川歯科大学同窓会 高知県支部の日本禁煙学

会のホームページへの掲載は、全国のどこの県の歯科医師会よりも、どの歯科大学よりも一早く、歯科医師会の中では日本歯科医師会に次いで初の試みとなるからです。

その他、歯科界から禁煙宣言を打ち出しているのは、

- ・日本歯内療法学会
- ・日本口腔外科学会
- ・日本歯周病学会
- ・日本歯科医学会
- ・日本補綴歯科学会
- ・日本口腔インプラント学会
- ・日本歯科医師会
- ・日本歯科衛生士会

などで、形の上では上記学会と神奈川歯科大学同窓会 高知県支部が同じ欄に肩を並べた事になりました(神奈川歯科大学同窓会 高知県支部は一番最後の欄になります)。

※詳しくはこちらをご覧ください

日本禁煙学会：<http://www.jstc.or.jp/>

禁煙宣言学会等の一覧：

<http://notabacco.jp/tabaccofree/sendengakkai.html>

高知県支部につづき他県の同窓会、歯科医師会の皆様も日本禁煙学会に禁煙宣言を発信してみませんか？これが全国にひろがり、一人ひとりの意識が変われば歯科界、医学会は勿論ですが、社会全体がもっと健康に良い方向に前進していく事になると思います。

そうなる事を願って、まずは高知から発信いたします。

実績と信頼 折り紙付き。



アサヒプリテックは、金属資源のリサイクル事業の分野で、独自技術により皆様から絶大な信頼をいただいております、業界No.1のシェアを実現しています。

また、お預かりした金属の分析から売却までをWeb上で安全に運用できる

「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。

アサヒメタルアカウントシステム

SDGs 取組実施

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー 11F
TEL: 03-6270-1820 FAX: 03-6270-1825 URL: <https://www.asahipretec.com/>
営業所 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄



ASAHIPRETEC



激励のお言葉

日本禁煙学会ホームページへの採択掲載について

禁煙宣言学会等の一覧は、日本の医療界を代表する錘々たる学会から始まり、神奈川歯科大学高知県支部の名前で終わっています。ここに名前を連ねるまでの道のりは、関係者の並々ならぬ努力というよりも、むしろ執念さえ感じさせます。神奈川歯科大学の代表として、関係者の皆様方に対し、改めて心より敬意を表させていただきます。この大業は、坂本龍馬が夕顔丸の中で起草した新国家構想である船中八策を思い起こさせます。そしてそれは新しい近代国家誕生の引き金となった大政奉還へと発展していった歴史と重なります。その龍馬を輩出した土佐の高知から、この宣言が草の根の如く歯科界に根付いていくことを心より願っております。

学校法人神奈川歯科大学 理事長 鹿島 勇先生

煙草の害

喫煙の健康上の害は科学的にも証明されており、一刻も早く止めることをお勧めいたします。この度、日本禁煙学会ホームページにおいて禁煙宣言学会等の一覧に神奈川歯科大学同窓会高知県支部が加えられたこと、先進的な取り組みに敬意を表します。口腔における喫煙の害は、煙草の刺激により血管が収縮し、循環障害が起これば創傷の治癒などの遅延を引き起こします。私の専門の唾液に関しても、分泌の低下を招くことが示されています。口腔の健康は全身の健康につながることから、まずは歯科医療従事者から積極的な禁煙を行い、口腔の健康から全身の健康作りを実践していきましょう。

神奈川歯科大学歯学部基礎歯科学系 環境病理学分野 教授 槻木恵一先生

“Think globally, Act locally.”の精神で、禁煙推進活動に期待

現在多くの医療団体や学会が禁煙宣言を行い活動に取り組んでいます。その中で、このたび、神奈川歯科大学の同窓会という顔の見える絆で結ばれたネットワークにおいて禁煙宣言を行い、活動に取り組まれることは大変意義があります。その意義として、まず地元での着実な取組の推進につながることが期待できます。次に、その取組の輪を同窓会のネットワークを通じて全国に広げることも可能となります。さらに、取組によって得られた経験や成果をもとに、国や自治体に政策提言を行い、制度等の改正につながれば、わが国のたばこ規制の推進に大きく寄与することになります。神奈川歯科大学同窓会の高知支部の皆さまには、“Think globally, Act locally.”の精神で、禁煙の輪を全国に広げていただくことを期待しています。

公益社団法人 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究 センター センター長 中村正和様

禁煙宣言は土佐の山間より！

このたびの、神奈川歯科大学同窓会高知県支部という身近な立場の方々の草の根活動が禁煙宣言という形で実を結ばれたという嬉しいお知らせを頂き、まずは心よりお喜び申し上げます。同じ高知県民として心強く、そして、あらためて自分自身の足元を見つめ直す機会を頂き感謝いたします。ヘルスケアに関わる専門職として、あらゆる疾病の健康阻害要因となるタバコ問題に取り組む意義を改めて自問自答しています。それは、医療従事者として当たり前前の活動であるはずなのに、躊躇する何かがあるとしたら、身近な喫煙者の存在なのかもしれません。そんな当たり前前の活動が地に足の着いたものになるためにも同じ教育を受けた「同窓会」というつながりはきっと着実な取組の推進につながることでしょう。そしてその取組の輪は、全国に広がる同窓会のネットワークを通じて次のステージに向かっていくことも期待できます。まさに自由民権運動は土佐の山間より広がったように禁煙宣言も全国に拡がり、国や自治体への政策提言や法改正につながる日を夢見しています。神奈川歯科大学同窓会の高知支部の皆さまには、“禁煙宣言は土佐の山間より”の精神で禁煙活動の民主化(?)の波が全国に広げる礎となることを祈念しています。

高知県立公立大学法人高知県立大学 看護学部教授 健康長寿センター／健康管理センター長

タバコフリー高知代表 久保田 聡美様

新型タバコ・新型コロナ時代の禁煙推進をともに！

神奈川歯科大学同窓会高知支部における禁煙宣言に強く賛同いたします。各地で禁煙推進を草の根活動として推進することには大きな意義があります。家庭や職場・飲食店などの身近な場所を禁煙にして、職場では通勤時間や昼休みも含めて就業時間内禁煙を推進するなど、少しでも喫煙できる場所や時間を減らしていくことで、禁煙したいと思っている喫煙者の方の禁煙を支援することができます。皆さんとともに有効なタバコ対策を推進していければと考えています。加熱式タバコや電子タバコといった新型タバコの登場により禁煙支援の難易度は増しており、喫煙は新型コロナウイルス感染症の明らかな重症化リスクファクターであるにも関わらず啓発は十分ではありません。しかし、日本人の多くが喫煙を原因として死亡している状況は続いており、我々医療従事者は禁煙啓発をあきらめるわけにはいきません。神奈川歯科大学同窓会高知支部の皆さんの活動が同窓会全体、歯科業界全体、社会全体へと波及するものと期待して、応援のメッセージを送らせていただきます。

大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部 田淵貴大様

禁煙活動を通して医療関係者に思うこと

禁煙の重要性は日常で聞かれることではありますが、まだ多くの方が喫煙の「習慣」をお持ちです。しかし医療関係者は、いずれの職種であれ、いずれの立場であれ、受診者の方々への禁煙支援に前向きになっていただきたいものと思います。現在多くの学会や研究会が禁煙宣言や、それに準じた宣言をしています。さらにこの度、日本禁煙学会のホームページに、神奈川歯科大学同窓会高知県支部という地方の団体の名称が記載されました。今後はこのような裾野の広い、医療関係者の連携がますます発展していただきたいと思います。さて、現在の保険診療による禁煙治療は、喫煙は「習慣」ではなく、喫煙への「依存症」との立場による解釈に基づきます。医療関係者自らも非喫煙者であることを目指し、広く社会に向けて禁煙支援の輪を拡げて行きましょう。「禁煙」を「死煙」にしないよう「支援」したいものです。

宇多津病院放射線科画像診断センター長 佐藤 功様



よ坊さん

令和5年度福岡県支部主催・総会・学術講演会開催

石川健一（18回生・福岡県支部 専務理事）

2023年7月23日（日）午前11時から、福岡県歯科医師会館にて、4年ぶりに対面での福岡県支部総会・学術講演会が会員17名の参加で開催された。

学術講演会では九州大学口腔顔面外科、本学出身の杉山悟郎先生（37回生）を講師にお招きし、「歯科臨床で注意したい顎骨関連疾患」と題して、貴重な症例と最新情報を交えた講演となった。

講演後には骨粗しょう症治療薬に関する活発な質疑応答が続き、日常臨床における関心の高さが伺えた。多忙な中、講演いただいた杉山悟郎先生には、支部会員一同感謝しております。

続いて総会では、下川聖人支部長が挨拶に立ち、本部、九地連、支部報告がされ、議題では歯科基金徴収停止、令和4年度会務・会計、会計業務監査報告後、令和5年度事業・予算案が承認可決された。

総会終了後、場所を「海山廊」に移し、今春「旭日双光章」を受章された熊澤榮三先生（3回生）を祝う会が開催された。

熊澤榮三先生は、福岡市歯科医師会会長を務めた後、福岡県歯科医師会会長に就かれました。切れ目のない歯科検診の実現に向けて行政に働きかけ、歯科医師の地位向上にも力を注いだ功績が認められ今回の受章に至り、同窓会員として誇りに感じます。

先生には今後も同窓会、歯科医師会のためにご尽力頂けることを願っております。



最上段左端が講師の杉山悟郎先生（37回生）です

「5回生クラス会」

澤村恭子（5回生・福井県支部）

令和5年（2023年）11月19日（日）12時より、ホテル椿山荘東京においてクラス会を開催しました。全国各地より46名が集い和やかな会となりました。

私たち5回生は、卒業後「五期会クラス会」と称し、当初は3年ぐらいの間隔でクラス会を開催。1990年の同窓会20周年記念の後のクラス会の時あとから1年or1年半の間隔で開催して参りました。

今回は、諸事情により2013年以来、10年振りに卒業後50年のクラス会を開催できました事を、嬉しく思っております。

卒業より50年経った今、少々、容姿に変化はございますが気持ちは学生時代のまま・・・！

やはり同級生というものは良いものです。

気兼ねなくおしゃべり出来て、あっという間の3時間・・・。

別れの際には、「近いうちにまた会いたい!! それまで元気でいましょう!」というお声があちこちで聞こえておりました。

今回、同窓会よりクラス会への助成金を頂きました事、感謝申し上げます。クラス会の報告とさせていただきます。



《 クラス会助成について・令和6年度 》

- 10周年単位のクラス会、卒業後5周年のクラス会に助成金を支給します。
- 令和6年度は6回生、16回生、26回生、36回生、46回生と卒業後5周年に該当する51回生が対象となります。
(いずれも前後1年の会期も可)
- 助成金額は、該当するクラス会1件 10万円で用途は自由です。
- 助成クラス会の該当要件があります。詳しくは事務局までお問い合わせください。
- 同窓会に提出する書類とは別に、同窓会会報に掲載する原稿を別途ご提出ください。(集合写真1枚等添付)

教授就任のご挨拶

主任教授 中納治久 (22回生・東京都支部)

昭和大学歯学部 歯科矯正学講座



1991年、神奈川歯科大学卒業歯学部22回生の中納 治久と申します。2023年4月1日付で、初代福原達郎教授、柴崎好伸教授、そして榎 宏太郎教授の後を継ぎ、昭和大学歯学部歯科矯正学講座第4代主任教授を拝命致しました。この大役を任され、その重責に身が引き締まる思いです。

私は、近親者に重度の顎変形を伴う者がおり、子供の頃から矯正歯科治療の苦勞を目の当たりにしていたため、矯正歯科医になることを夢見て神奈川歯科大学に入学しました。大学時代は、硬式テニス部で朝練・夕練そして夜の部とテニス漬けの日々を送り、厳しくもあり優しくもあった先輩、苦樂を共にした同学年の仲間、そして先輩をいじってくれる後輩と出会い、充実した日々を送りました。歯科診療支援学講座、クリニカル・バイオマテリアル学の二瓶 智太郎教授は硬式テニス部の同級生です。日常の学生生活でも男女問わず同級生に恵まれ、未だに交流が続いています。神奈川歯科大学での日々は、思い出深く充実した日々で、



デンタルでの二瓶 智太郎教授とのツーショット

一生の宝物だと感じています。

大学卒業後は、直ぐに昭和大学歯学部歯科矯正学教室に特別研究生として入局しました。しかし、母校を去ることに対する不安を感じていた時、故鈴木祥井教授に相談し、その励ましを受けた記憶が蘇ってきます。2年目には、昭和大学大学院歯学研究科に進学しました。大学院時代は、初心を忘れず「顎変形症成因の解明」をテーマに、歯科矯正学教室の榎 宏太郎現特任教授、口腔病理学教室の故吉木周作名誉教授、立川哲彦名誉教授の指導を受け、日本矯正歯科学会雑誌に学位論文「下顎骨非対称誘導ラットにおける下顎骨形態及び咀嚼筋組織の変化について」を発表しました。論文発表から27年経過しましたが、顎変形症の成因は多因子で未だに解明出来ていません。引き続きライフワークとして追求していきたいと考えています。

一方、臨床においては、本学の矯正歯科は、一般的な小児・成人の矯正に加え、顎の変形を伴う「顎変形症」、口唇口蓋裂を始めとする「先天疾患」や歯が顎に埋って生えてこない「埋伏歯」を伴う不正咬合の患者さん等などに対して、医系総合大学である利点を活かしチーム医療を実践しています。しかし、矯正歯科臨床にも多くの課題があります。「顎変形症」は、骨格性の下顎前突症、上顎前突症、開咬症などが外科的矯正治療の対象になりますが、顔面の左右非対称や下顎頭の変形を伴う症例は、後戻りが多く不安定であることが知られています。また、「口唇口蓋裂」は、口蓋形成術後の癒痕や顎裂による骨欠損が原因で叢生や反対咬合を呈し、その解決と対応が急務です。また、矯正治療の新規技術に関しては、治療期間の短縮や治療中のQOL向上などの観点から、「矯正歯科用アンカースクリュー (TAD)」や「アライナー型矯正装置 (アライナー)」が開発されました。しかし、適応症例や使用法を誤ると治癒しないなどの問題点も多く、課題の抽出や解決が必要となっています。そこで、「顎変形症」「口唇口蓋裂などの先天疾患」「小児・成人の不正咬合」を対象とし、基礎研究と臨床・疫学研究をさらに進め、エビデンスに基づいた矯正歯科臨床の実現に貢献したいと考えています。

最後に、私が最も重要だと考えている事は、患者から信頼される専門医療を提供できる歯科医師の育成です。そこで、安心・安全な医療を実践する為に、福原、柴崎、楨ら先代のもとで培った技術と信念を継承し、更なる卒後臨床教育の充実を図り、チーム医療の一員として活躍できる、人間性豊かな情熱を持った、そして、問題解決に論理的思考をもって取り組むことが出来る医療人を育てたいと考えています。

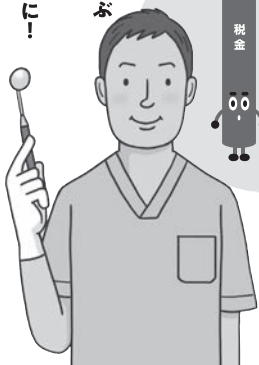
矯正歯科治療は万能ではありません。矯正歯科治療の利点や欠点を正しく理解し、患者にとって最善の選択が可能となるよう説明し実践出来る医療人を育て、皆様に信頼していただけるよう医局全員で一致団結して取り組んで参ります。現在は、神奈川歯科大学を離れておりますが、ご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



第 47 回日本口蓋裂学会総会での集合写真

歯科医師・従業員のみなさまへ。あなたにも“プラス”を。

掛金はぜんぶ
所得控除に
なるから、
税金がお得に！



一生涯
もらえる
年金を上乗せ
できます！



”時代の
人生100年
プラス年金“



歯科医師国民年金基金



60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。*非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ！



0120-155-950

〒102-0076
東京都千代田区五番町12-11
泉館五番町ビル2F
<https://www.npfunddent.or.jp>



歯科インプラントの現状と課題



築瀬武史 (15 回生・埼玉県支部)

日本歯科医学会評議員会 議長
 一般社団法人 日本歯科医学会連合 専門医制度委員会 委員
 公益社団法人 日本歯科先端技術研究所 名誉会長
 公益社団法人日本口腔インプラント学会 理事・専門医制度推進委員会委員長
 神奈川歯科大学 客員教授
 聖マリアンナ医科大学医学部 非常勤講師

1900年代に歯科インプラント治療は臨床応用されました。黎明期を経た現在、多くの国民が歯科インプラント治療により口腔機能を再建し、摂食機能だけでなく身体機能や精神衛生を維持して生活の質を向上させています。黎明期にはさまざまな素材やデザインのインプラント体が販売されましたが、現在ではチタン製のネジ状のデザインが主流であり術式もマニュアル化され、近年ではデジタルの活用によりさらに施術の安全性は高まり、多くの歯科医師が手掛ける一般的な治療になりつつあります。インプラント治療の長期安定の指標としてsurvival rateが使用されますが、各メーカーのインプラントもsurvival rateは90%以上であり、インプラント治療は予知性の高い歯科治療になったと言えます。また、補綴様式も多種多様となり、インプラント治療はさらに健康寿命の延伸に貢献しています。我が国においてインプラントの販売本数は年間40万本以上であり、施術に伴う医療トラブルだけでなくインプラント難民と表されるメンテナンスやリカバリーの受診困難な受療者も増加しているのが現状です。インプラントの長期安定には施術前の診断・適切な一口腔単位の診療計画、長期かつ定期的な口腔内管理などが重要であることは言うまでもありませんが、インプラント治療終了後の施術医と受療者のrelationship、インプラント治療時の患者の年齢、認

知症を含む脳疾患や循環器系疾患、糖尿病などの罹患、受療者の生活環境の変化など歯科医学以外のファクターも大きく関与すると考えます。インプラント治療は患者の生活を支える医療です。施術医が受療者の加齢に伴う変化に対応できる管理体制を整えることが重要です。現在、私は(一社)日本歯科専門医機構認定インプラント歯科専門医のワーキンググループに(公社)日本口腔インプラント学会の実務担当者として参加しています。インプラント歯科専門医はブラックジャックのようなインプラント治療の達人ではなく、有病者や予備力の低下した高齢者への適正な診断、症型分類に基づき標準的な治療を安全に施術できる歯科医師であり、さらに他院でのインプラント受療者の相談、メンテナンスやリカバリーに対応できるインプラント治療のゲートキーパーであるべきと私は考えます。そのためには女性歯科医師やアカデミアを離れた臨床医がチャレンジできる持続可能な専門医研修システムの構築だけでなく、日本口腔インプラント学会が社会性を以って歯科診療所間の連携、難易度の高い施術を行う高次歯科医療機関と歯科診療所の連携、日本歯科医学会が提唱する1.5次医療機関の整備などインプラント治療に関わる環境整備を行うことは不可欠であると考えます。



東日本大震災発生後、
死体検案支援身元確認作業に2期11日間従事した



第53回日本口腔インプラント学会学術大会において
主演者として勤務医・川端理仁先生(49回卒)が発表した

Rock led me to dental psychosomatic medicine

清水義央 (13 回生・神奈川県支部)



私が所属している横浜市神奈川区歯科医師会では年に一度、「学校歯科医と養護教諭の合同勉強会」が開催される。数年前、勉強会後の懇親会で、私は養護教諭にこう紹介された。「この清水先生は、歯科医だけじゃなく、バンドをやってCDも出しているんです」まあまあ若い養護教諭がこう言った。「すご〜〜い、GReeeeNみたい!」私はこう言った。

「冗談じゃない! 私がGReeeeNみたいなんじゃない、彼らが私みたいなのだ」と。

いい歳して憎まれ口たたくのはこのくらいにしておこう。私は1957年生まれ、神奈川県立相模原高等学校2年の時にロックバンド「KENSO」を結成、結成直後にアマチュアバンドコンテストでグランプリをとり、その後諸事情あって神奈川県立歯科大学に入学(13回生)、軽音楽部に入部、5年生時と卒後1年目に自

主制作(今でいうインディーズ)LPを2枚リリース、1985年にキングレコードよりデビュー、数回のメンバーチェンジ、ライブやCDリリースを重ね、二度のアメリカ公演を経て現在に至る。2023年4月、ほとんどのアルバムがキングレコードより全世界配信された(脚註1)。KENSOはしばしば“日本を代表するプログレバンド”と言われる。“プログレ”というのはProgressive Rockの略称で、1968年~1975年くらいに主としてヨーロッパを中心に百花繚乱、興隆を極めたロックのジャンルである。それまでのロックに、クラシック、ジャズ、民族音楽などの要素をブレンドし、更にそこに哲学的な(多分に難解かつ秘教的な)歌詞が加わった極めて芸術性の高い作品が多く発表された。若き日の私はそれらの歌詞の意味を知りたくて多くの文学作品や哲学書を読み漁り、また人間の精神の異常性について表現した作品(プログレの代表的名曲に「21st century schizoid man」というそのものズバリの曲もある)を理解するために、ユングやフロイ



鋏を持った空手部先輩に追いかけられた大学2年



白衣のRocker

トといった精神医学書も背伸びして読んでいた。さて、私は20代の終わりから約5年間、ご縁があって岡山大学医学部脳代謝研究施設に在籍し1990年に学位を授与されたが、その研究室での貴重な経験は私の音楽作品にも生かされたし、その後、歯科心身医学というその当時比較的新しかった分野に取り組む上で大いに役立った。単純に“心=脳”とは思わないけれど、心身医学を学ぶ上で脳についての基礎的な知識はあったほうがよいのではないだろうか。私にとって「脳」は一般的な歯科医に比べたら敷居が低かったのかもしれない。一方「心」というものをどう捉えるか、即ち精神医学的な方法については、音楽活動を通じて知り合った二人の精神科医、特に現在聖マリアンナ医大神経精神科主任教授の古茶大樹先生から多くを教わった。浅学非才の私が歯科心身症について同窓の先生方に説明するなんて烏滸がましいが、上記のような道を辿ってきた下町の歯医者さんの眩きとして読んでいただきたい。ご存知の方も多いと思うが「心身症」というのはあくまで身体疾患（器質的病変ないし機能障害）で、その発症や経過に、心理・社会的因子が関与しているものを指す。しかし「歯科心身症」というのは～正式な定義はまだ無いんじゃないのかな？～私は上記の「心身症」の概念をそのまま歯科にあてはめるのではなく、“心理・社会的なストレスなどが引き金となって口腔に発現する不具合”という程度に捉えている。現実には咬合違和感、口臭恐怖症、舌痛症、極度の歯科恐怖症などなど症状は多岐にわたり、精神疾患の一症状として発現する場合もある。私と歯科心身医学との関わりを決定的に深めたのは、2003年4月2日に開催された本学同窓会学術講演会「歯科医のための心身医学・精神医学」だった。講師はこの分野の先駆者・和気裕之先生と当時北里大学医学部精神科教授の宮岡 等先生。この頃お二人とも本学の非常勤講師をされていた。それ以前から咬合違和感などについて同級生の玉置勝司君（脚註3）に相談しており、この講演会も彼から「ぜひ受講した方がいいよ」と勧められたと記憶している。いや～この講演会はシビれました！ You shook me. それまでプログレを理解するため

に、また興味の赴くままに読んでいた精神医学書、岡大脳研での経験、友人から教わった精神医学の知識、それらと自分の歯科臨床が連鎖反応的に繋がる感覚を味わった。講演会の抄録に挙げられていた文献を貪り読み、私はその泥沼へのめり込んで行くのであった。この分野に興味のある先生のために、参考文献を脚註4にて少しだけご紹介したい（歯科心身医学本、意外とたくさん出版されている）。長文、失礼しました。To be a rock and not to roll！

註1：KENS0を配信で聴いてみようと思われている方には「KENS0を聴け(初心者編)」をお勧めする。

https://lnk.to/KENS0_Playlist2

歯科医と musician の二重生活については2009年「歯界展望」誌に一年間「ロック 歯科綺譚」を連載した。

2013年、英国の鍵盤奏者 Robert Webb のアルバム「LIQUORISH ALLSORTS」、2014年、Finland のバンド Samurai of Prog のアルバム「The Imperial Hotel」でギタリストして客演。

2024年、KENS0は新作のレコーディング予定。

註2：神奈川県同窓会(JJ会)では、古茶大樹先生、安藤貴紀先生による精神医学の講演会を1996年より5回開催している。

註3：2023年3月に本学教授を定年退官。咬合違和感について、精神科医とのリエゾン診療というアプローチを確立したのは偉業であり、同級生として誇りに思う。

註4：「サイコ・デンティストリー」(和気裕之著・砂書房)、「明るい歯科心身医学」(豊福 明、吉川達也著・永末書店)、「口・あご・顔の痛みと違和感の対処法」(和気、玉置、宮岡編著・ヒョーロン社)、上記3冊に加え、少し古い本になるが読む価値のある本として「さまよえる患者をどう捉えるか」(デンタルダイヤモンド社1995年初版)、「歯科医のための心身医学・精神医学」(日本歯科評論社1998年初版)。精神医学の入門書としては、「精神医学エッセンス」(濱田秀伯著・弘文堂)、「臨床精神病理学」(古茶大樹著・日本評論社)、「やさしい精神医学」(西丸四方、西丸甫夫著・南山堂)。もっともっと読みたい方は私まで連絡ください。

番外註：老人のプチ自慢話。私は本学卒業試験において「優秀賞」の表彰を賜っている。

令和5年叙勲表章



旭日双光章 熊澤榮三先生(5回生 福岡県支部)

令和5年度の春の叙勲で、旭日双光章を受章し皇居豊明殿で、天皇陛下よりお言葉を頂きました。長年、会員と共に県民の口腔健康向上に寄与したお陰だと思えます。今後も歯科界の為に努力するつもりです。



旭日双光章 石黒豊先生(7回生 山形県支部)

地域住民のためとの視点を大事に「患者の気持ちに寄り添う」をモットーに、半世紀近くにわたって診療を続ける傍ら、がん患者を対象とした歯科検診などを医師会・薬剤師会と協力した取り組みにも関わっている。先生は「今後は医科・歯科・薬科との連携をさらに進めていきたい」と話されています。



旭日双光章 田中直人先生(14回生 神奈川県支部)

計らずも春の叙勲を頂く事となりました。ご活躍いただいている先輩諸氏は多くいらっしゃいますが、たまたま機が合い、また皆様のおかげで頂けたものと思っております。感謝申し上げます。ありがとうございました。



旭日双光章(令和4年) 坂東光美先生(8回生 徳島県支部)

長年、学校歯科や地域歯科保健に携わってきたことに対する受章だと思い、非常に光栄に思っています。

令和5年表彰



北海道歯科医師会功労会員顕彰 札増史子先生(1回生 北海道支部)

先生は、1回生として昭和45年に卒業し、空知郡奈井江町で長年、地域医療に従事されました。北海道支部発会に携われ、いつも笑顔が絶えない優しい先生として後輩に慕われております。

群馬県総合表彰(教育部門) 松本徹先生(6回生 群馬県支部)

長年、伊勢崎市学校医としてご活躍された功績に対する表彰です。



厚生労働大臣表彰 中西通先生(9回生 徳島県支部)

思いがけず、厚労大臣賞を頂きました。諸先生方のお力添えがあつての結果と承知しております。これを糧に、仕事に遊びに、ますます人生を楽しみたいと思っています。



厚生労働大臣表彰 高橋朗先生(12回生 埼玉県支部)

この度、「厚生労働大臣表彰」を頂き、私にとって身に余る受彰です。大館会長から、歯科医師にとって最高の誉れと伺い、身が引き締まる思いです。今一度、生涯現役でいければと思います。



日本歯科医師会会長表彰 金子守男先生(18回生 神奈川県支部)

この度、公益社団法人日本歯科医師会会長表彰をいただきました。まことに身にあまる光栄でございます。公益社団法人神奈川県歯科医師会の推薦、並びに同窓会のバックアップのおかげで、日歯の代議員、県歯の役員として活躍の場を与えていただきましたこと感謝申し上げます。今後も神奈川県歯科大学と同窓会の為に、そして歯科医師の為に頑張る所存です。これからもみなさまのご指導、ご鞭撻を頂けましたら幸いです。



日本歯科医師会会長表彰 田岡計久先生(18回生 徳島県支部)

この度はこのような榮譽有る表彰を賜り大変感謝致しております。今後も歯科界に少尽力できれば嬉しい限りです。この度は誠に有り難うございました。

新規・乙種（1）会員の届出

甲種正会員の配偶者あるいは直系親族（甲種正会員1名につき乙種正会員は1名まで）に該当する方が届けを出すことで乙種での入会または乙種への会員種別変更が可能となります。

〈ご希望、お問い合わせは同窓会事務局まで〉

新入会者

小菅栄子	(27回生・甲)	群馬県支部
本澤俊二	(33回生・甲)	千葉県支部
日高弘一	(44回生・甲)	神奈川県支部
玉山廣忠	(18回生・甲)	広島県支部
山口 真一郎	(32回生・甲)	広島県支部

再入会者

板東士朗	(19回生・甲)	東京都支部
櫻井直子	(33回生・甲)	神奈川県支部
宮城直美	(33回生・甲)	神奈川県支部

《褒章・叙勲・表彰について》

国（内閣府）・都道府県から褒章・叙勲を受章されたほかに、医療に携わり社会的に貢献した事を認められて（大臣表彰・都道府県・日本歯科医師会）から表彰を受章された先生方を会報（HP）でご紹介させていただきます。

会報掲載をご希望の先生は、支部名、回生、お名前、受章（表彰）名・受章（表彰）日・写真1枚と簡単なコメント（50字程度）を添えて事務局にお届出ください。

『特別会員』

山崎 升(元神奈川歯科大学 化学 教授)
2023.06.15 ご逝去

『正会員』

池内龍也	(沖縄県支部 8回生)	2021.11.29	ご逝去
黒木 千恵子	(神奈川県支部 9回生)	2023.07.26	ご逝去
川端俊行	(和歌山県支部 7回生)	2023.08.06	ご逝去
菅野孝一	(大分県支部 4回生)	2023.08.15	ご逝去
土方俊徳	(東京都支部 4回生)	2023.08.18	ご逝去
友利優一	(鹿児島県支部 9回生)	2023.08.21	ご逝去
坂田隆一	(神奈川県支部 4回生)	2023.08.21	ご逝去
高橋映夫	(栃木県支部 5回生)	2023.09.01	ご逝去
久米 満	(兵庫県支部 7回生)	2023.09.22	ご逝去
中島 誠	(静岡県支部 8回生)	2023.09.28	ご逝去
新穂薫一	(宮崎県支部 2回生)	2023.10.21	ご逝去
金谷初男	(兵庫県支部 6回生)	2023.11.12	ご逝去
元田史子	(東京都支部 1回生)	2023.11.26	ご逝去

●ご報告●

会報137号（2023年1月20日発行）に、令和4年10月末日現在の「被災された同窓生への災害支援に関する経過報告」を掲載いたしました。その後、被災報告は令和5年10月末日現在までにいたしておりませんことをご報告いたします。

貴支部総会等の際に、支部会員の先生方から過去における被災状況の報告をお受けしたなどの話題がございましたら、本部同窓会事務局までお知らせくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

《編集後記》

新春を迎え、広報委員一同は会報第139号に会員の熱い話題の寄稿に感謝です。2024年も同窓生の皆様、地域での活動や素晴らしいエピソードをお寄せください。また、共に歩んだ思い出や未来への展望もお待ちしています。どんな小さな事柄も大歓迎です。お便りお待ちしております。

広報委員：加来 めぐみ (9回生) 金子宣由 (19回生) 濱野奈穂 (30回生) 市田佳子 (33回生) / 広報担当常務理事 川端啓義 (12回生) / アドバイザー 高橋 朗 (12回生)

神奈川歯科大学同窓会会報 139号

発行：神奈川歯科大学同窓会
〒238-8580 横須賀市稲岡町82
TEL：046-825-0524 FAX：046-822-3538
URL: <https://inaoka82.com/> E-mail: ob-jimu@kdu.ac.jp

発行人：大館 満
発行日：2024年1月18日
印刷：一世印刷株式会社
〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
TEL：03-3952-5651



神奈川歯科大学同窓会

甲種正会員各位

神奈川歯科大学同窓会

会長 大舘 満

令和 5 年度

神奈川歯科大学同窓会定例総会開催のお知らせ

下記により令和 5 年度神奈川歯科大学同窓会定例総会を開催いたします。お忙しい事とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：令和 6 年 2 月 24 日（土）午後 6 時（代議員会終了後）

場所：神奈川歯科大学 新本部棟 2 階 多目的ホール

議事

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 4 年度一般会計-1 歳入・歳出決算 |
| 第 2 号議案 | 令和 4 年度一般会計-2（事業運営安定化資金）歳入・歳出決算 |
| 第 3 号議案 | 令和 4 年度事業基金会計-1 歳入・歳出決算 |
| 第 4 号議案 | 令和 4 年度福祉共済部会計-1 歳入・歳出決算 |
| 第 5 号議案 | 令和 4 年度福祉共済部会計-2（同窓会年金）歳入・歳出決算 |
| 第 6 号議案 | 令和 4 年度奨学金基金会計歳入・歳出決算 |
| 第 7 号議案 | 令和 4 年度前受金会計歳入・歳出決算 |
| 第 8 号議案 | 令和 4 年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出決算 |
| 第 9 号議案 | 資産目録に関する件 |
| 第 10 号議案 | 令和 6 年度事業計画（案） |
| 第 11 号議案 | 令和 6 年度一般会計-1 歳入・歳出予算（案） |
| 第 12 号議案 | 令和 6 年度一般会計-2（事業運営安定化資金）歳入・歳出予算（案） |
| 第 13 号議案 | 令和 6 年度事業基金会計-1 歳入・歳出予算（案） |
| 第 14 号議案 | 令和 6 年度事業基金会計-2（名簿発行事業）歳入・歳出予算（案） |
| 第 15 号議案 | 令和 6 年度福祉共済部会計-1 歳入・歳出予算（案） |
| 第 16 号議案 | 令和 6 年度福祉共済部会計-2（同窓会年金）歳入・歳出予算（案） |
| 第 17 号議案 | 令和 6 年度奨学金基金会計歳入・歳出予算（案） |
| 第 18 号議案 | 令和 6 年度前受金会計歳入・歳出予算（案） |
| 第 19 号議案 | 令和 6 年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出予算（案） |
| 第 20 号議案 | 特別委員会の立ち上げについて |
| 第 21 号議案 | 特別会員の承認に関する件 |
| 第 22 号議案 | 退会者承認に関する件 |

※ 資料ご希望の方は、神奈川歯科大学同窓会 事務局までご請求ください。

神歯大同発 5 第 61 号
令和 6 年 1 月 18 日

神奈川歯科大学同窓会
甲種正会員各位

神奈川歯科大学同窓会
会長 大館 満

選挙管理委員会
委員長 田中直人

会長・監事選挙の告示

本会会長・監事の任期満了にともない、本会会則第 3 章第 10 条及び選挙管理委員会規定に基づいて、会長・監事選挙を行います。

記

選挙の日時：令和 6 年 2 月 24 日（土）
第 98 回代議員会において

選挙の場所：神奈川歯科大学 新本部棟 2 階 多目的ホール

届出期間：令和 6 年 2 月 9 日（金） 午後 5 時まで
（郵便物必着）

届出先：〒238-8580 横須賀市稲岡町 82 番地
神奈川歯科大学同窓会事務局

- * 選挙管理委員会規定 第 22 条（立候補の届出書または推薦候補の届出書に記載する事項等）に記載されている届出書類を提出ください。またお届け頂きました書類は神奈川歯科大学同窓会ホームページに掲載を前提とします。（<https://inaoka82.com/>）
- * 趣意書は 800 字程度でお願いします。

立候補の届出書、推薦候補の届出書の用紙は同窓会事務局にありますのでご請求ください。

神奈川歯科大学附属 歯科・健脳クリニック日本橋のご案内

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓生の皆様には多大なるご支援ご指導を賜り感謝申し上げます。

さて、歯科・健脳クリニック日本橋は日本橋三越本店 新館5階に2023年4月30日に開院いたしました。

医療コンセプトは“**脳と口腔の健康増進**”でございます。

昨今、超高齢化社会を迎えるなかで、認知機能低下は、年相応の“物忘れ”から日常生活に支障をきたす“認知症”まで、その程度は人によって様々で、その原因については数多く報告されています。中でも、口の中の環境（かみ合わせ、オーラルフレイル、歯周病等）と認知機能低下とは密接に関係しています。



本院の特徴は、認知機能と口腔疾患を組み合わせた医科・歯科連携の脳機能・口腔疾患医療クリニックで、西洋医学と東洋医学を融合したオーダーメイドの医科・歯科連携による医療を提供することで、皆様方の持続可能な健康寿命のサポートを実施いたします。

【歯科診療の基本コンセプト】

患者様の口腔内の状況や要望に合わせて治療のプログラムを決定していくオーダーメイドの自費診療専門クリニックでございます。治療を開始する前に、患者様の状況を詳細にお聞きし、治療に関するご要望や治療情報についてカウンセリングを実施いたします。口腔内検査・X線検査・歯周組織検査・*P.gingivalis* (*P.g*) 菌などの臨床検査を行い、その結果をご説明したうえで治療のご希望を伺います。その後、策定した治療計画をご相談し、ご納得いただいた後に治療が始まります。当院では、歯周治療、インプラント治療、補綴治療、マイクロエンド治療を各専門医が専門性の高いレベルで治療を行うだけでなく、事前に実施した細菌検査や歯周病の状態について確認し、場合により内科への対診を実施したうえで治療を進めます。その背景としては、*P.g* 菌のレベルによってアルツハイマー型認知症の原因の1つとされている「アミロイドβ」への対応が変わってくることから、医科と連携しながらの治療が重要となってきます。

近年、歯周病に関しては全身疾患との関係性が強いことが知られており、アルツハイマー型認知症や糖尿病、心疾患や脳梗塞はその最たるものと言えるでしょう。当院では口腔機能の回復だけでなく、医科歯科連携のもと歯周病の治療を専門的に実施し、各専門医によるオーダーメイドの歯科治療を提供いたします。

【専門医による歯科診療内容】

- 歯周病治療（再生療法、FGG/CTG/歯周形成手術、SPT 等）
- インプラント治療（骨造成、GBR、ティッシュマネージメント）
- 補綴治療（CAD/CAM、IOS）
- 精密う蝕治療/根管治療（マイクロスコープ/Carl Zeiss OPMI PROergo、CBCT/モリタ 3D Accuitomo F17D+）

同窓生の皆様からのご紹介だけでなく、症例相談や症例によっては先生方の患者様の手術見学や立会いアシストのご要望も承っております（主にインプラント手術、歯周形成手術）。ご紹介に際しましては、歯科自費診療費について同窓生特別割引プラン（約 30%割引）を設定しております。詳細につきましては、お気軽にご相談ください。

紹介特別プランの一例（以下消費税込みの表示となっております）

インプラント診療埋入手術 1 回法・プロビジョナル・上部構造 1 本 539,000 円～
骨造成・GBR 法 1 歯（骨再生誘導法）115,500 円～
歯周外科治療 46,200 円～、再生療法 115,500 円～、歯周形成手術 61,600 円～、
イニシャルトリートメント前歯（マイクロエンド）91,000 円～



【医科診療の基本コンセプト】

人生 100 年時代。carpe diem を想う時、愉しく人生を謳歌する為にも心身の健康が必要不可欠です。中でも、活動の動機を産み、望む果実を得る為に行為を遂行する司令塔「脳」の健康は、特に重要なファクターと言えます。そこでポイントとなるキーワードが、クリニック名にも冠した「健脳」です。健脳を得る為に医科と歯科が診療科の垣根を越え、「健脳科」として専制的予防介入を図る、歯科・健脳クリニック日本橋。医科診療、歯科診療、どちらが先でも目指す方向は同じ「健脳」。当院は、「健脳」を通じて人生の喜びをサポートする医療機関です。神奈川歯科大学附属歯科・健脳クリニック日本橋が仕掛ける、世界に先駆けた医科・歯科連携による認知症早期発見、特にアルツハイマー病予防医療を、是非先生方にも体験して頂きたく思います。

【医科診療内容】

認知症の原因として、最も多い疾患がアルツハイマー病 (AD) です。アミロイド β 1-42 ($A\beta$) と呼ばれる異常なタンパクが脳に沈着することで発症する AD ですが、歯周病菌 (特に *P. gingivalis*) 感染との関連が知られています。例えば AD モデルマウスに *P. gingivalis* を感染させると、脳内の $A\beta$ の蓄積量が増加するといった報告。*P. gingivalis* の慢性感染が歯肉で $A\beta$ を作り出し、脳への $A\beta$ の移入と蓄積にも関与していることを明らかにした報告といった具合です。残存する歯が多いと認知症になり難いという疫学研究の知見は有名ですが、歯周病は歯の欠損の要因の一つですので、こうした観点からも歯周病を扇の要に、認知症、特にアルツハイマー病の予防に関して、医科-歯科連携診療が必須となる訳です。理事長鹿島勇先生が推進される本学の次世代構想。その一つに位置する歯科・健脳クリニック日本橋の先進性は、まさにこの点にあります。横須賀の附属病院で培った、他大学では類を見ない医科-歯科連携診療のメソッドを、認知症性疾患の予防に特化して実践する。認知症発症以前におけるリスク評価と口腔疾患治療の融合は、時代の先端を行く医療の提供と言う事が出来るのではないのでしょうか。

AD に関しては、認知症専門医による詳細な神経学的診察に加え、eye tracking を用いた認知機能評価、AD に関連する遺伝子検査、最先端のアミロイド PET を用いて AD のリスク因子を徹底的に評価します。診療の流れは以下の通りになります。

- 問診を含む一般理学的診察および神経学的診察
- 血液生化学検査 (ApoE 遺伝子、その他専門項目網羅)
- 認知機能検査 (認知機能セルフチェッカー®)
- 海馬 MRI
- amyloid-PET (コースにより 123I-IMP 脳血流シンチグラフィへ変更など、適宜必要な検査項目をオプションとして追加)
- 詳細な検査結果の説明と解説
- 治療の提案

歯科・口腔外科診療担当表

	月	火	水	木	金	土	日
10:00～13:00	木本* 河奈	児玉	児玉	小牧 児玉※	児玉	児玉	菊地☆
14:00～18:00	木本* 河奈	児玉	児玉	小牧 児玉※	児玉	児玉	菊地☆

* 隔週診療

※ 横浜クリニックでの診療日あり

☆ 他の曜日の可能性あり

認知症・高齢者内科・脳神経内科診療担当表

	月	火	水	木	金	土	日
10:00～13:00		眞鍋					
15:00～17:00			眞鍋	眞鍋			

担当医紹介

児玉利朗（院長）

神奈川歯科大学臨床先端医学系口腔再建学分野 特任教授

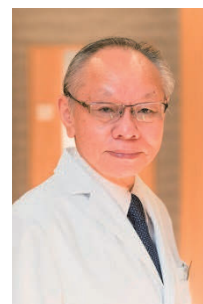
歯学博士

歯周病専門医、日本歯周病学会理事・指導医

日本口腔インプラント学会専門医・指導医・代議員

日本歯科産業学会理事

ITI フェロー（International Team for Implantology）



眞鍋雄太（副院長）

神奈川歯科大学臨床先端医学系認知症医科学分野 認知症・高齢者総合内科 教授
医学博士

日本認知症学会専門医、指導医

日本医師会認定産業医

難病指定医（パーキンソン病）

多数傷病者への対応標準化トレーニングコースプロバイダ

ボトックス療法認定資格医日本認知症学会認定専門医・指導医

藤田医科大学 医学部 内科学 客員教授



木本克彦

神奈川歯科大学横浜研修センター・横浜クリニック院長
神奈川歯科大学歯科補綴学講座クラウン・ブリッジ補綴学分野教授
歯学博士
日本補綴歯科学会認定専門医・指導医
日本口腔インプラント学会認定専門医・指導医
日本デジタル歯科学会認定医

小牧基浩

神奈川歯科大学歯科保存学講座歯周病学分野教授
歯学博士
日本歯周病学会認定専門医・指導医
日本再生医療学会認定医

河奈裕正

神奈川歯科大学歯科インプラント学講座顎口腔インプラント学分野教授
医学博士
日本顎顔面インプラント学会認定専門医・指導医
日本口腔外科学会認定専門医・指導医
慶應義塾大学医学部 客員教授

菊地和泉

神奈川歯科大学特任教授
歯学博士
日本歯科保存学会 認定医
東京医科歯科大学 歯髓生物学 非常勤講師

【東洋医学（鍼灸・あん摩マッサージ施術）】

鍼灸とは

鍼灸は、疾患や症状に適した経穴(ツボ)に刺激を加えることで元々身体に備わっている病気を治す力を高めて元気にする治療法です。

鍼灸は薬品における副作用の問題などの欠点を補う治療法として、また鍼灸の持つ免疫の活性化・血行改善・恒常性機能亢進などの作用から健康維持・増進が期待できる治療として注目され、米国や欧州では鍼灸の利用が非常に盛んになっております。

治療の流れ

初診の方にはまず椅子で行うクイック治療（15分程度）から始めます。その際に来院されるきっかけになった症状や部位、発症の原因や経過、その他にも色々なことをお聞きした後、脈診・腹診・舌診などの東洋医学的検査をし、鍼灸の適応か否かの判断をしたうえで、次回以降クイック治療を続けるか、ベッドでの治療（45分程度）を行うかご説明いたします。

なお、初回からベッド治療をご希望される方は予約の際にお申し出ください。

パラメディカルスタッフ

高木真弥

神奈川歯科大学特任教授
日本中医鍼灸研究会理事
神奈川歯科大学鍼灸臨床センター センター長
一般社団法人老人病研究会 地域フロンティア代表

濱中梨野

神奈川歯科大学鍼灸臨床センター 副センター長
一般社団法人老人病研究会 認知症認定鍼灸師

【アクセス】

〒103-8001

東京都中央区日本橋室町1丁目4-1

日本橋三越本店 新館5階

☎ 03-6665-0825

🌐 <https://brain-oral.com/>



医科・歯科特化

新規開院 医療法人化 事業承継

税務・会計
TAX ACCOUNTING

SOLUTION
SERVICE

社労士業務
SOCIAL &
LABOR INSURANCE

医業経営
コンサルティング
MEDICAL MANAGEMENT



みなとみらい税理士法人
高田会計事務所

所長・税理士 高田一毅

〒220-0011 横浜市西区高島2-3-25 みなとみらいTAビル

TEL:045-285-8880 FAX:045-285-8881

E-mail: ta@ac-systems.co.jp